

報 館 おおなだ



北部地域包括支援センター

を訪ねました!

この 4 月に「北部地域包括支援センター」が岡田東区の信号の東にできました。センターの増田敬子さんにお話を伺いました。

Q 地域包括支援センターはどんなところ?

A 高齢者やその家族からの相談の第一歩の窓口がこのセンターです。どんな相談にも応じられるよう、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの 3 職種が常駐しています。

これまでの公助(国や市が助けてくれる)から、自助・互助・共助(地域に暮らしている人が助け合う)という形に福祉が移行しつつあり、松本ではこれまでの 8 センターから 12 センターへと再編しました。北部地域包括支援センターは、岡田・本郷・四賀の 3 地区を担当し、中間地点であるこの岡田に設立されまし

た。岡田地区担当は増田さんですが、専門性が必要なときは皆で担当します。

Q 地域づくりって?

A 地域包括支援センターは地域づくりのお手伝いの役目も担っています。地域づくりは、一律にできることではなく、その地域独自の状況・課題を踏まえながら、自分たちのできることを考えてやっていき



ましようということですが。岡田でも地区の様々な組織が協力して、住民の声を拾い上げて講演会や、集いのひろばなど行っています。困っている人たちのお手伝いやボランティアをする組織づくりは、四賀地区が先駆者で、「共助」の見本とも言えます。どのよう一人暮らしの高齢者を支えていけるか、介護保険を利用しなくて済むように元気でいるにはどのような取り組みが必要か、考えなくてはなりません。

外に出ること・笑うこと

大きなことでなくてもできそうなことはあります。たとえば、「上りのバス停にベンチがない」と言う声があります。シニアクラスのお父さんたちが日曜大工で小学生なども巻き込み、世代間交流をしながら地元の間伐材でベンチを作る。それを公民館の外などにも置けば、井戸端会議の場が提供できます。一人が座っていれば一人、また一人と仲間が増え、会話がはずみ

ます。ベンチひとつで家に引きこもらないきっかけにもなります。

今まで第一線で働いてきた人たちが、仕事を辞め、家に閉じこもり、うつ病になることもあります。高齢者が孤立してしまわないよう、外に出て皆と接すること、一口に高齢者と言っても幅がありますから、それぞれの状態やニーズに応じた集いの場が必要です。認知症の予防にはクスリや体操だけでなく、誰かと話して笑うことも必要だそうです。福祉ひろば・地区の公民館など大いに活用して仲間づくりをしましょう。

(取材を終えて)

「笑う門には福来たる」私の大好きな言葉です。大きな声で笑うことは健康の源だと思っています。私たちは岡田の地で年を取ります。この場所が私たちの故郷です。まず一歩踏



北部地域包括支援センターのスタッフ (左から：岡本さん・内藤さん・丸山さん・増田さん)



み出して、この岡田の地で助け合い、楽しく明るく暮らしていきたいでしょう。(深井)

人物登場

負けない人生

東区 丸山 美智子さん

爽やかな季節に、ほっとさせられる方に出逢いました。丸山美智子さん、東区矢諸にお住まいです。3人のお子さんを育て上げ、若い頃には岡田チームのママさんバレーボールに汗を流していたという活動的な方です。子供時代はチャンバラごっこが大好きな女の子だったと恥ずかしそうに話して下さいました。



丸山 美智子さん

現在は、積極的にぼっかぼっか浅間にて週1回のストレッチや、松本市北部障害者デイサービスセンターで手や体を動かせる様々なリハビリに精を出しています。それに加えウォーターフィールドで365日休みなく1万歩歩いているとの事ですが、なんと！雨の日は傘をさして歩くのだとか!!

その活動量には驚きました。体を動かす事は「スッキリする」と言います。

本当に、笑顔で淡々と話され、苦しさも辛さも全て受け入れ、毎日を過ごされている姿勢に強ささえ感じました。私も、頑張らなくっちゃ!

(取材 西村)

岡田財産区でメガソーラー稼働

エネルギー総合商社のサンリンが、岡田財産区(佐藤忠議長)の貸与した土地に建設していたメガソーラー(大規模太陽光発電所)「サンリン松本発電所」が、6月2日、完成。発電を始めました。

総事業費は約5億円。発電所の規模は、岡田財産区が所有する山の採掘跡地約3万平方メートルに、太陽光パネル約7300枚を設置し、出力は約1900キロワットとなります。年間発電量は一般家庭約570戸の消費電力を賄うことができ、発電した電力は、再生可能エネルギーとして全量を中部電力に売電します。

メガソーラー建設により、これから先20年間、岡田財産区は安定収入を得ることができ、山林の維持管理費に充てていきます。



サンリンは地域貢献事業として、岡田出張所へ災害の際使用する「自立型発電システム」1基と「ソーラー街路灯」2基を寄贈しています。サンリンの柳沢勝久社長は「地元の環境教育の発展にも寄与していきたい」と、今回のメガソーラー建設も、小学校の課外授業での見学会・勉強会に利用していきたいように、メガソーラーが一望できる展望台を設置しました。

メガソーラーは、これから先20年間に渡る事業となります。財産区の管理地にメガソーラーができるのは中信地区では初めてであり、「地元の方々の協力を得ながら維持管理に努めたい」と話されていました。(取材 日比)

近年NHK朝の連続テレビ小説が気になっている。元来ドラマ関係に殆ど興味が無かった私が気になり始めた作品は、平成23年安曇野が舞台になった「おひさま」。平日常なかなか視聴できない事から、土曜日にBSで1週間分まとめて見たりした。

きっかけは単純で、勤務地が安曇野。盛り上りへの便乗や、仕事関係でも顧客に対し話題を提供できる事などが理由であった。

そして現在は「とと姉ちゃん」であるが、物語は昭和5年静岡県遠州地方が始

生活雑記 今更ながら 岡田松岡 井口 浩司

まりでその後東京へ移る。私の両親は既に他界しているが大正11年・15年と二人とも大正生まれであった。

今回、興味を持った理由は両親の年代とドラマの時代背景までいく姿が登場人物達と重なる。

正直言うと私は両親の生い立ち全てを知らない。もしかしたら半分も知らないかもしれない。小さい頃から触れてはいけなかった。部分は子供ながら敏感に察知して聞きもしなければ、知ろうともしなかった。これからもそれで良いと思っている。ただはつきりしている事は心血を注いで育ててくれた事。今更ながら両親に対する感謝の念である。親孝行したいときに親は無し。思いを馳せている今日この頃である。